

源氏物語

御息所

「ぬくおりの消えぬうちに、又、参ります。」
「お心にもないことを。」

藤壺

「本当にわたくしなのでしょいか、
あなたが求めておいでなのは。」

葵

「あの子は、生まれたくなかったのではありませんか。」

「あの時あのまま

あなたを失ってしまいかと、
生きた心地もしなかった。」

朧月夜

「お急ぎにならないと、

夜の闇が

消えてしまいますわ。」

紫



夕顔

「もう幾度あなたの許に
通ったでしょう…。

なのにあなたは…。」

「白い夕顔の咲く家の
女とだけ、あなたが
忘れずにいて下さったら

朝日新聞(東京本社)創刊100周年/テレビ朝日開局30周年/日本ヘラルド映画創立30周年記念作品

製作/朝日新聞社/テレビ朝日/日本ヘラルド映画グループ●プロデューサー/原 正人/田代敦巳●監督/杉井ギサブロー●脚本/筒井ともみ●音楽/細野晴臣(サントラ盤:EPIC・ソニー)
アニメーション監督/前田庸生●美術/馬郡美保子●設定デザイン/見玉喬夫●キャラクター原案/林 静一●作画監督・キャラクターデザイン/名倉靖博●撮影/杉村重郎●編集/古川雅士
アシスタントプロデューサー/藤田 健●効果/柏原 満●録音/林 昌平●音響/田代敦巳●プロデューサー補/伊藤正昭/山下健一郎
製作プロダクション/グループ・タック/ヘラルド・エース●配給/日本ヘラルド映画

源氏

紫式部 Murasaki Shikibu

THE TALE OF GENJI

物語

華やかな宮廷を舞台に
繰り広げられる光源氏と
女性たちとの愛と葛藤の
一大ロマン。

時を超えても変らぬ男女の愛の機微。
ときめき、せつなさ、喜び、悲哀、はかなさ
が光源氏とともに登場する女性たちのそれぞ
れの生き方、愛の在り方の中で見事に描かれ
それぞれに読者の心をとらえます。云うまで
もなく、日本古典文学の最高傑作であり、又
海外にも広く紹介され、世界文学史上でもこ
の作品の価値は高く評価されています。

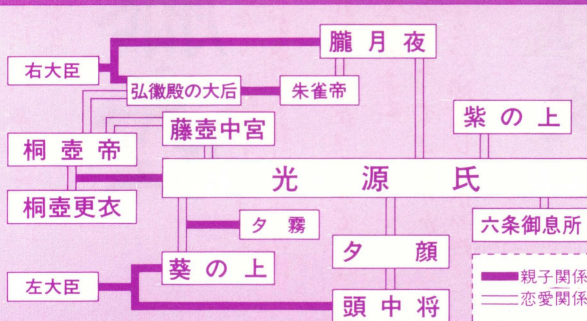
また、この作品はその後の日本文学の作家
たちの、その創作においても、バイブル的と
もいえる強い影響を与えつづけ、「源氏物語」
そのものに対しても、数々の作家が現代語訳
し、「与謝野源氏」「谷崎源氏」「田辺源氏」
田辺源氏等々と呼ばれ、多くの読者に親しまれ
新たな「源氏ファン」を生み続けています。

この長編アニメ映画「源氏物語」は夏目漱
石の『それから』など、斬新な感性で数々の
脚本を書き上げ、今、最も注目される脚本家
筒井ともみが「源氏物語」原典から脚本を書
き下ろし、監督が宮澤賢治の『銀河鉄道の夜』
をアニメ化し、名作を作り上げた杉井ギサプ
ロー、音楽は、平安時代の持つ雰囲気にな

興味を抱きつづけているという世界的ミ
ージシャン・細野晴臣が担当します。いわば
この映画は脚本の「筒井源氏」監督の「杉井
源氏」音楽の「細野源氏」とも云うべき、大
きな三つの才能がイメージする源氏世界が映
像化にむけて融合した作品です。

◆**危険で、本当のしやれ者の光源氏、登場!**
「平安時代に生きる光源氏の現世と、それを
映画で観る今の人の現世。この千年の時の隔

光源氏をとりまく人々



徹底した平安文化の美意識を追求

「源氏は時代に溶け込めず、いつもアウトロ
ー的な位置にいる。その時代の価値感が自分

たを埋めるものとして、『桜』という超時代
的な背景を置き、時を超えた『桜』の存在が
光源氏を感得せ、試し導いていく」と。具
体的なイメージは、情に溺れる一枚目的な源
氏ではなく、現代にも通じる危険で、本当の
しやれ者の光源氏にしたい。(筒井ともみ談)

◆世紀末のヨーロッパ文化に通ずる甘美な世界を

「あの時代は亜熱帯のような日本だ
ったのではないか。あの時代に流れ
ている音楽はすごく無国籍風で開放
感があり、リズムもはつきりしてい
る。輸入文化が原形のまま存在して
いるような、今の日本では想像でき

にとつては価値がないと感じてしまう人物だ
からこそ、時代を超えて、彼に同調でき、そ
こに魅力があるのでは」。平安文化には無
駄のない洗練された美学があり、映画では徹
底した美意識の追求をしていきたい。又、ア
ニメのキャラクターも観る人に、やっぱり、
日本人の体つきにしたい。」
(杉井ギサプロー談)

ない文化があった。「源氏物語」を日本文学の
古典の枠の中で語らないで、世紀末のヨーロ
ッパ文化に通じるような地球レベルでの爛熟
した文化と甘美な世界として展開したい。」
(細野晴臣談)
この映画では全五十四帖の中から、桐壺から
須磨まで、源氏がまだ大人になり切らず、何
かを求めつづけている青春時代に焦点をあて
、いわば源氏物語の春の巻ともいえるものです。
アニメだからこそ表現でき得た華麗にして
繊細なる平安貴族の雅びの世界——そこで織
りなされる女性たちの恋の生きざま——。

名作「銀河鉄道の夜」を贈った朝日新聞
テレビ朝日、日本ヘラルド映画が最高のスタ
ッフで製作するアニメ第二弾「源氏物語」は
「映像源氏」の決定版として、ロードショー公
開されます。



12月19日(土)正月ロードショー!

有楽町・東宝映画街

目比客

みゆき座

(591)
5357

■前売鑑賞券●一般1200円●学生(大・高・中)1100円●小学生800円●ペア券2200円好評発売中!